

雲南圏域における次期可燃ごみ広域処理施設整備基本構想策定業務委託
公募型プロポーザル選定委員会
会議の運営等について(案)

選定委員会の運営等について

(1)会議の公開・非公開について

会議は公開とする。ただし、会議に個人情報が含まれる場合や、企業の技術情報等が含まれる場合等で委員長が必要と認める場合には非公開とすることができ。したがって、プロポーザル参加者によるプレゼンテーション及び選定委員会によるヒアリング（二次審査）は、参加者の独自のノウハウに関する提案が含まれることが想定されることから、非公開とする。（事務局職員は例外）

(2)会議の傍聴について

- ①傍聴定員は 10 名以内とする。ただし、委員長は会場面積等を勘案して増減を可能とする。
- ②傍聴希望者は、受付で住所・氏名を記入し、入場すること。又、傍聴受付は開会の 30 分前から先着順で行い、開始時刻又は定員に達した時点で終了する。
- ③傍聴できない者
 - ア 危険物を携帯している者
 - イ 酒気を帯びていると認められている者
 - ウ 貼紙、ビラ、掲示板、プラカード、旗、のぼりの類を携帯している者
 - エ 笛、ラッパ、太鼓その他鳴り物を携帯している者
 - オ その他、会議を妨害、又は人に迷惑を及ぼすと認められる者
- ④傍聴者の遵守事項
 - ア 会場における議論や言論に対して、拍手その他の方法により公然と可否を表明しないこと。
 - イ 談論し、放歌し、高笑し、その他騒ぎ立てないこと。
 - ウ はちまき、腕章、たすき類を着用する等、示威的行為をしないこと。
 - エ 飲食又は喫煙をしないこと。
 - オ みだりに席を離れ、又は不体裁な行為をしないこと。
 - カ 携帯電話等については、使用できないよう電源を切ること。
 - キ その他、会場の秩序を乱し、又は会議の妨害となるような行為をしないこと。

と。

ク 委員長が必要と認める場合は、傍聴者に退場を命じることができる。

⑤撮影、録音等の禁止

傍聴人は、写真、ビデオ等を撮影し、又は録音等をしてはならない。ただし、委員長の許可を得た場合は、この限りではない。

⑥報道関係者の取り扱い

基本的に傍聴者と同じ取り扱いとするが、前項のうち、録音以外の行為は認めるものとする。

(3)会議の運営について

事務局は、会議録を作成し公表するものとする。会議録の作成及び公表にあたっては、次のとおりとする。

- ①会議録に記載する委員の発言者区分は、委員長及び委員の2区分とする。
- ②会議を非公開とした部分は、会議録の作成を行わない。
- ③会議録には会議の要旨を記載することとし、各委員の確認を受けてから組合のホームページで公表するものとする。
- ④会議資料は、非公開とすることが適当と認められる場合を除き、原則として組合のホームページで公表する。